

湯のまち大鰐。豊かな阿闍羅山の恵み。

代表理事 舘山 誠

来たる5月13日(日)、青森県南津軽郡大鰐町の地域活性化を図るために活動しているボランティア団体「あじゃらで遊ぶ」と共同で「第1回みちのく津軽あじゃらで遊ぶトレイルフルマラソン」を開催することになりましたのでご案内いたします。

「あじゃらで遊ぶ」は、私たちが主催する「みちのく津軽ジャーニーラン」を全面的にサポートしてくれているとても心強いパートナーでもあります。私たちは、この団体と連携して津軽地方の振興に貢献したいと思っております。

さて、大鰐といえば温泉と阿闍羅山のスキー場抜きには語るできません。

津軽藩の湯治場として古くから賑わいをみせていた大鰐は情緒あふれる湯のまちで、開湯はおおよそ800年前といわれています。以来、何軒もの温泉宿、公衆浴場が軒を連ねる街並みが保たれてきており、今も来る人の旅情をそそります。この大鰐温泉のくぐり道は、津軽は金木町(現五所川原市)出身の作家・太宰治の小説「津軽」にも綴られています。

次に100年の歴史を誇る阿闍羅山のスキー場。

大鰐町は全日本スキー連盟発祥の地でもあり、過去4回にわたる冬季国体、インターハイ、インカレスキー選手権大会、はたまた冬季アジア大会の会場にもなった知る人ぞ知る国内有数のスキーの聖地で、シーズン中は多くのスキーヤーが阿闍羅山での豪快な滑降を楽しんでおります。

このように、古くからの温泉と阿闍羅山という自然の恵みを有しているものの、昨今の如何ともし難い社会情勢が絡み合い、皮肉なことにその恵みが起因して財政難に陥っている現実がここ大鰐町にあるようです。

そこで立ち上がったのが、大鰐町で生まれ育ち、この町をこよなく愛している高橋浩二さん、赤石裕樹さんが中心になって組織した「あじゃらで遊ぶ」であります。

日々、労を厭わず精力的に無償行為を実践しているメンバーの方たちには、本当に頭が下がる思いです。私たちは、その「あじゃらで遊ぶ」の活動に寄り添いたいと思います。そして、湯のまち大鰐、豊かな阿闍羅山の恵みを広く紹介し、かつ多くの人たちにこの地でより楽しいときを過ごしていただくことにしました。

かつて、私たちは埼玉県飯能市で「トレイルフルマラソン・チャンピオンシップ in 宮沢湖」と称した、恐らく国内唯一と思われるトレイルでのフルマラソンを開催していました。残念ながら、この大会のコースに使用していた宮沢湖畔にムーミンのテーマパークが建設される運びとなり、2013年の大会をもって終了せざるを得ませんでした。

5年のときを経て、我が故郷・津軽の地で、それも大鰐町の活性化につながるイベントとして、「あじゃらで遊ぶ」の素晴らしき仲間たちと共にトレイルでのフルマラソンを復活できることに心を弾ませております。

津軽ファンの皆さん、トレランファンの皆さん、「あじゃらで遊ぶ」&スポーツエイド・ジャパンの活動に賛同して下さっている皆さんに呼びかけさせていただきます。

「風薫る5月には是非とも大鰐町にお出かけください！ 爽やかな新緑の阿闍羅山で、一緒に思いっきり遊びましょう!!」